

配筋検査ARシステム「BAIAS」 小黑板機能 ご利用ガイド

2025年12月作成
株式会社GRIFFY

小黑板機能で小黑板の作成・設定を行うことで、計測時に小黑板を使用することができます。計測モードごとに用意されたテンプレートから簡単に作成が可能で、設計値や実測値が自動で反映されます。

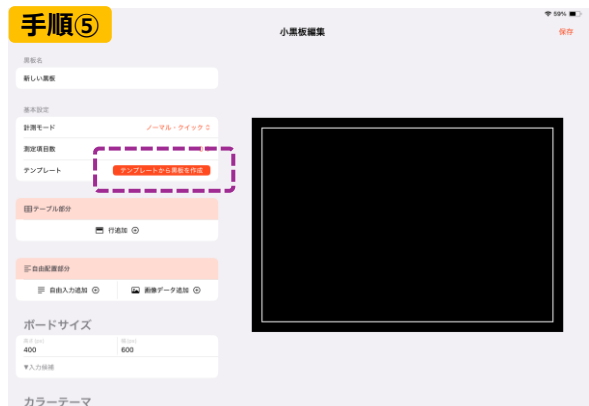
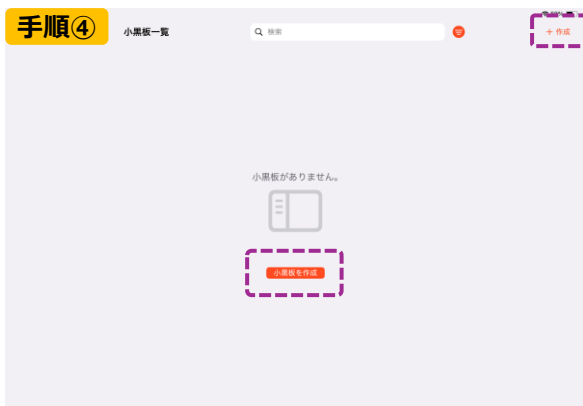
(1) 小黑板を作成

計測モードごとに用意されたテンプレートから小黑板を作成します。

- ①BAIASアプリを起動して、保存先選択画面で検査データの保存先を選択します。
保存先は、あらかじめBAIASクラウド側で作成しておく必要があります。
- ②計測モード選択画面左下にあるオレンジ色のハンバーガーメニューをタップします。
- ③表示されたメニューの中から、「小黑板設定」をタップします。

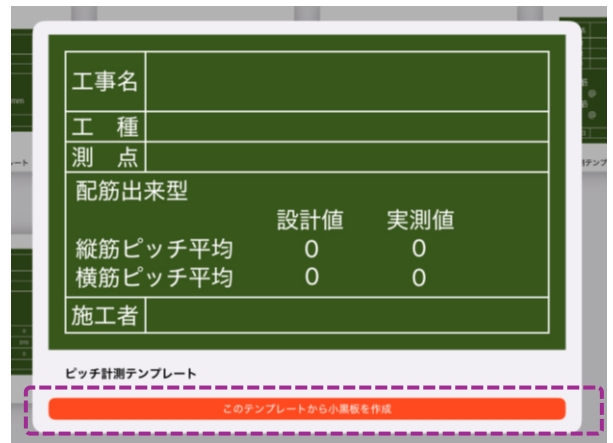


- ④小黑板一覧画面が表示されますので、画面右上の「+作成」ボタンをタップします。
作成した小黑板が0件の場合は、画面中央に表示される「小黑板を作成」ボタンをタップします。
- ⑤小黑板編集画面の基本設定に表示されている「テンプレートから黒板を作成」ボタンをタップし、テンプレート選択画面を開きます。



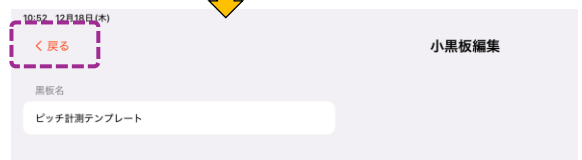
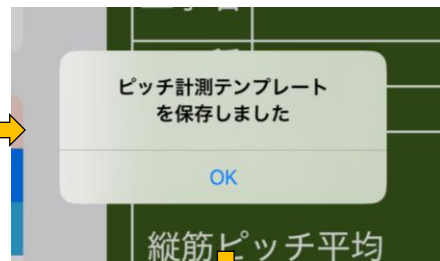
- ⑥テンプレート選択画面には、計測モードごとに用意されたテンプレートが一覧で表示されます。使用する計測モードに合ったテンプレートの黒板をタップし、表示されたウィンドウ内の「このテンプレートから小黒板を作成」ボタンをタップします。

手順⑥

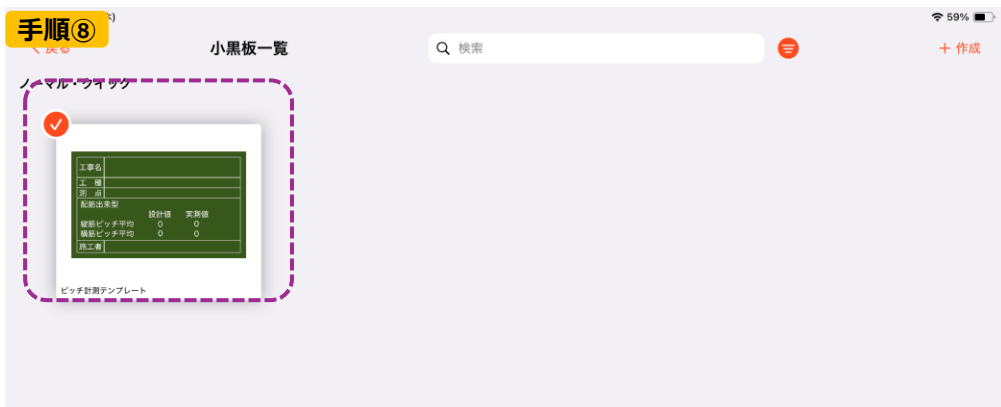


- ⑦選択したテンプレートの内容が反映された状態の小黒板編集画面に戻りますので、画面右上の「保存」ボタンをタップして小黒板を保存します。保存成功のダイアログが表示されたら、画面左上の「戻る」ボタンをタップして小黒板一覧画面に戻ります。

手順⑦



- ⑧作成した小黒板が一覧画面に表示されれば、小黒板の作成は完了です。



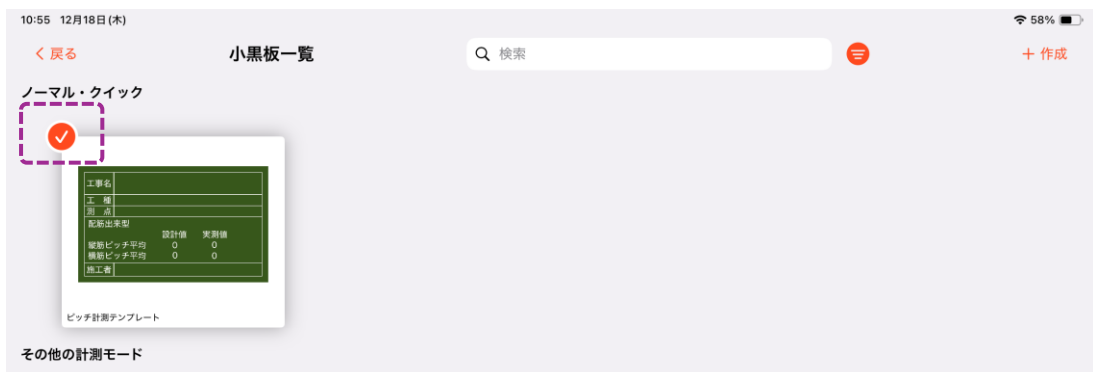
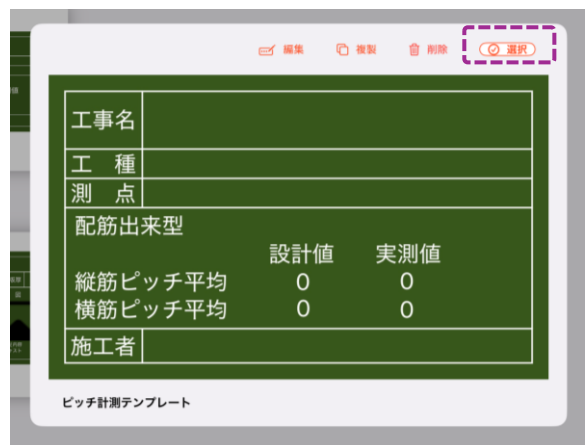
(2) 使用する小黒板を選択

- ①計測モード選択画面左下にあるオレンジ色のハンバーガーメニューをタップします。
- ②表示されたメニューの中から、「小黒板設定」をタップします。



- ③小黒板一覧画面に作成済みの小黒板が表示されますので、使用する小黒板をタップします。表示されたウィンドウ内の「選択」ボタンをタップすると、選択ボタンが選択解除ボタンに切り変わります。この状態でウィンドウ外をタップして小黒板一覧画面に戻ると、小黒板の左上にオレンジ色のチェックマークが表示されます。これで小黒板の設定は完了です。

手順③



④小黑板は工事ごとに保存されています。

使用したい小黑板が見当たらない場合、現在保存先に選択していない工事に小黑板が保存されている可能性があります。

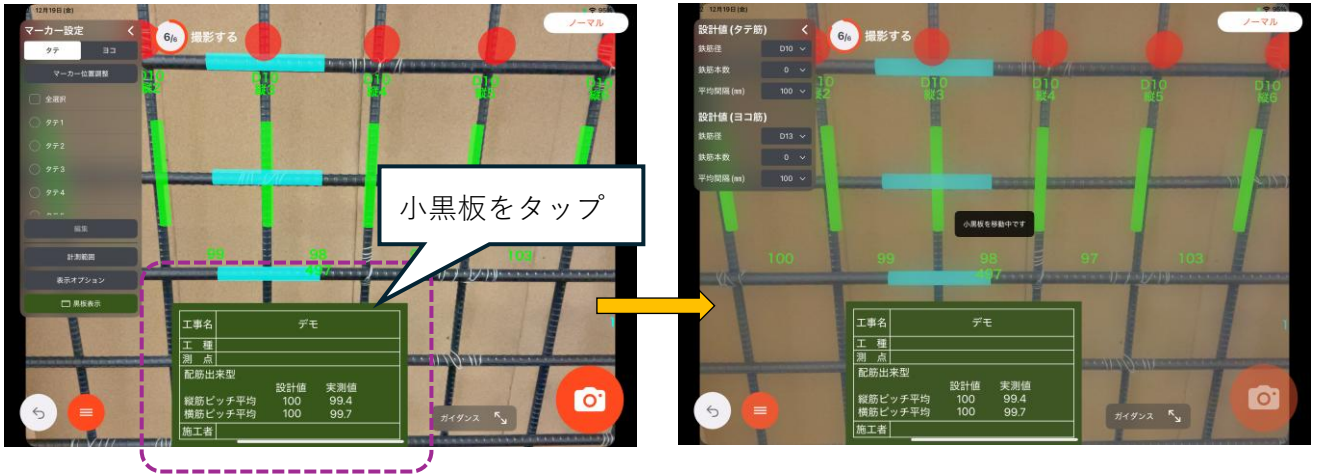
画面上部のフィルターアイコンをタップし、絞り込みを「選択中の工事のみ」から「すべて」に変更することで、BAIASアプリに保存されたすべての小黑板が一覧表示されるようになります。



(3) 小黑板を移動

- ①画面上に表示された小黑板をタップし、小黑板移動モードに切り替えます。
- ②小黑板をドラッグして任意の位置に移動します。
- ③移動が完了したら、再び小黑板をタップし、小黑板移動モードを終了します。

手順①

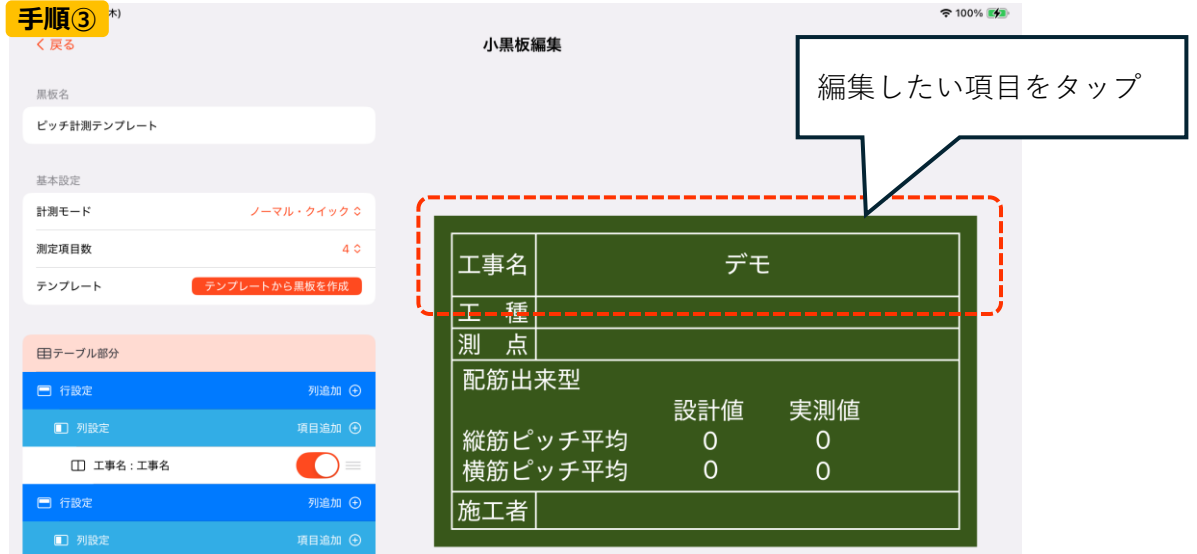


(4) 小黒板を編集

作成した小黒板は後から編集することができます。

テンプレートから作成した小黒板は工事名に保存先として選択した工事名が自動で入力されますが、手動で入力することも可能です。

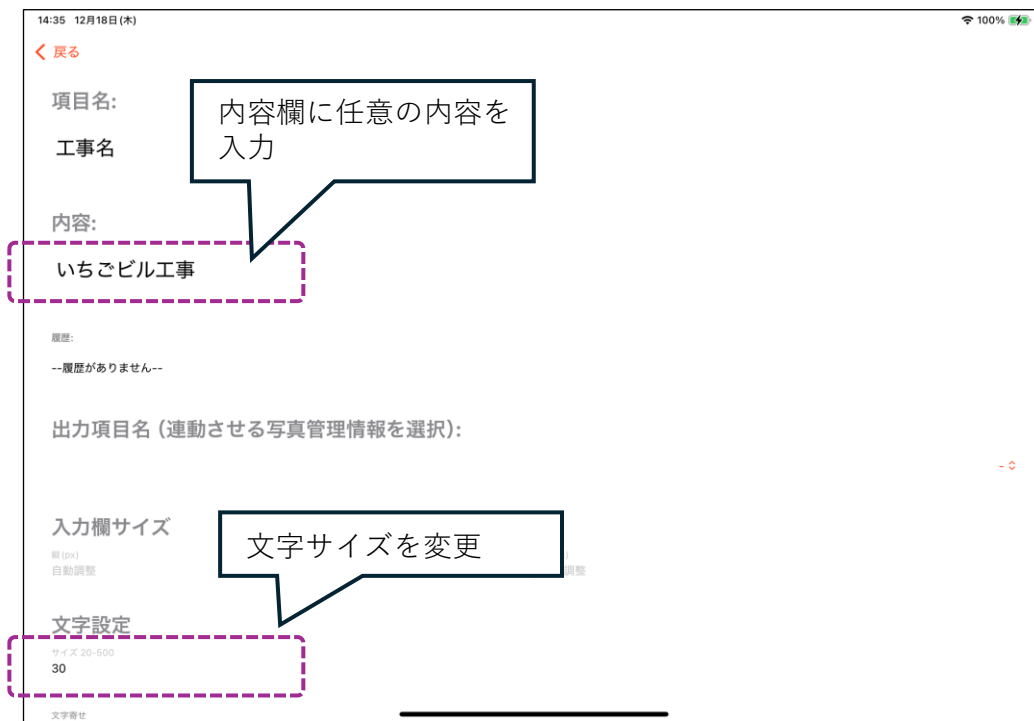
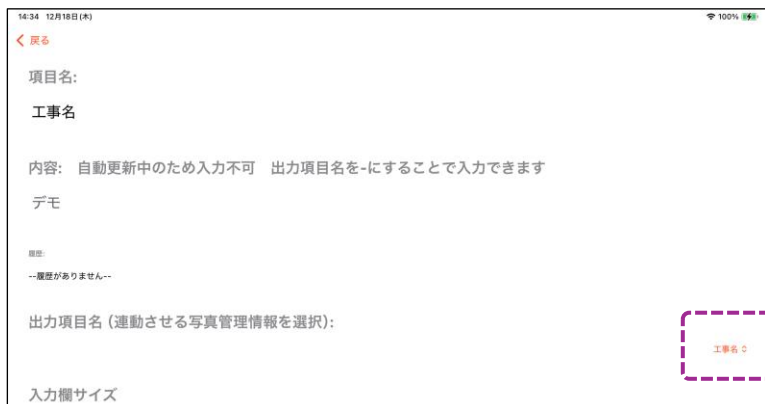
- ①小黒板一覧画面を開き、編集したい小黒板をタップします。
- ②表示されたウィンドウ内の「編集」をタップします。
- ③小黒板編集画面にて編集作業を行います。画面右側の黒板の編集したい項目をタップします。



- ④例えば、工事名を手入力する場合は、出力項目名を「工事」から「-（ハイフン）」に変更します。内容が入力可能になるので、任意の工事名を入力します。文字設定からも文字サイズの変更も可能です。

編集内容は自動で保存されるので、入力が終わったら画面左上の「戻る」ボタンをタップします。

手順④



⑤編集作業が終わったら、画面右上の「保存」ボタンをタップして編集内容を保存します。

手順⑤

戻る

小黑板編集

保存

黒板名
ピッチ計測テンプレート

基本設定
計測モード ノーマル・クイック
測定項目数 4
テンプレート テンプレートから黒板を作成

目テーブル部分

行設定	列追加
列設定	項目追加
工事名: -	
行設定	列追加
列設定	項目追加
工種: 工種	
測点: 撮影箇所	
行設定	列追加
列設定	項目追加

工事名	いちごビル工事	
工種		
測点		
配筋出来型	設計値	実測値
縦筋ピッチ平均	0	0
横筋ピッチ平均	0	0
施工者		

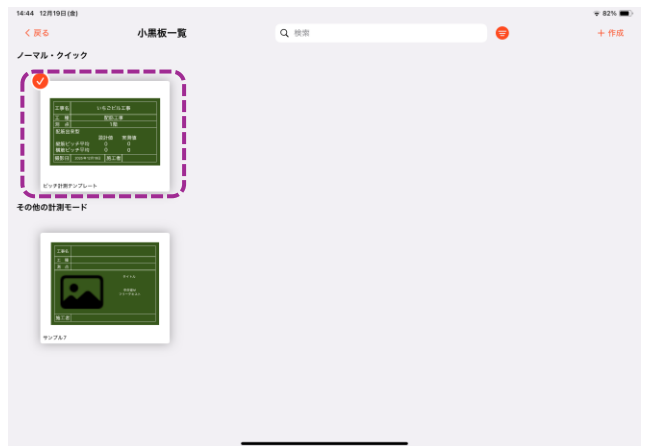
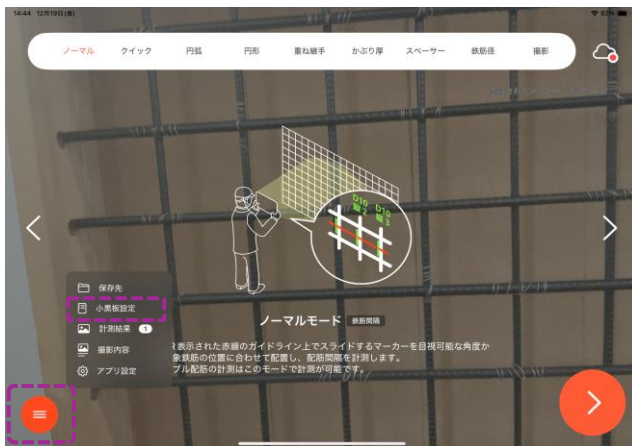
(5) 計測での使用事例～計測結果を小黒板に反映～

ノーマルモードで配筋間隔を計測した場合を例に、小黒板への計測結果の反映プロセスを紹介します。

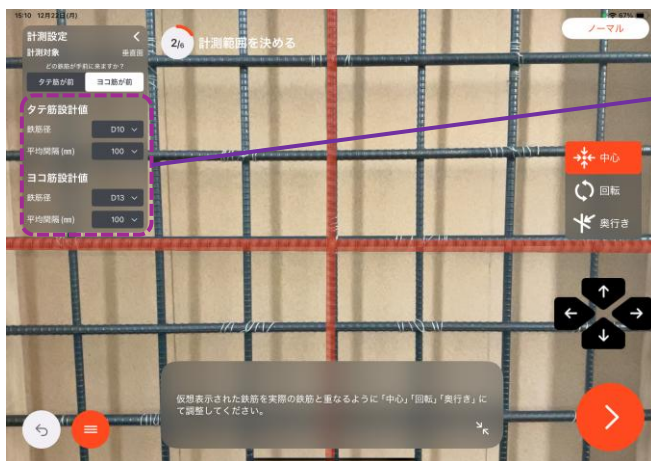
- ① 予め (1) と (4) の手順で小黒板を作成・編集しておきます。
 本事例では右記の小黒板を使用します。

工事名	いちごビル工事		
工種	配筋工事		
測点	1階		
配筋出来型			
	設計値	実測値	
縦筋ピッチ平均	0	0	
横筋ピッチ平均	0	0	
撮影日	2025年12月19日	施工者	

- ② (2) の手順で計測時に使用する小黒板を選択し、ガイダンスに沿って計測手順を進めます。



- ③ 計測範囲を決める画面に移行しますので、小黒板に掲載される設計値を、左上の「計測設定パネル」上に入力します。



タテ筋設計値

鉄筋径: D10

平均間隔 (mm): 100

ヨコ筋設計値

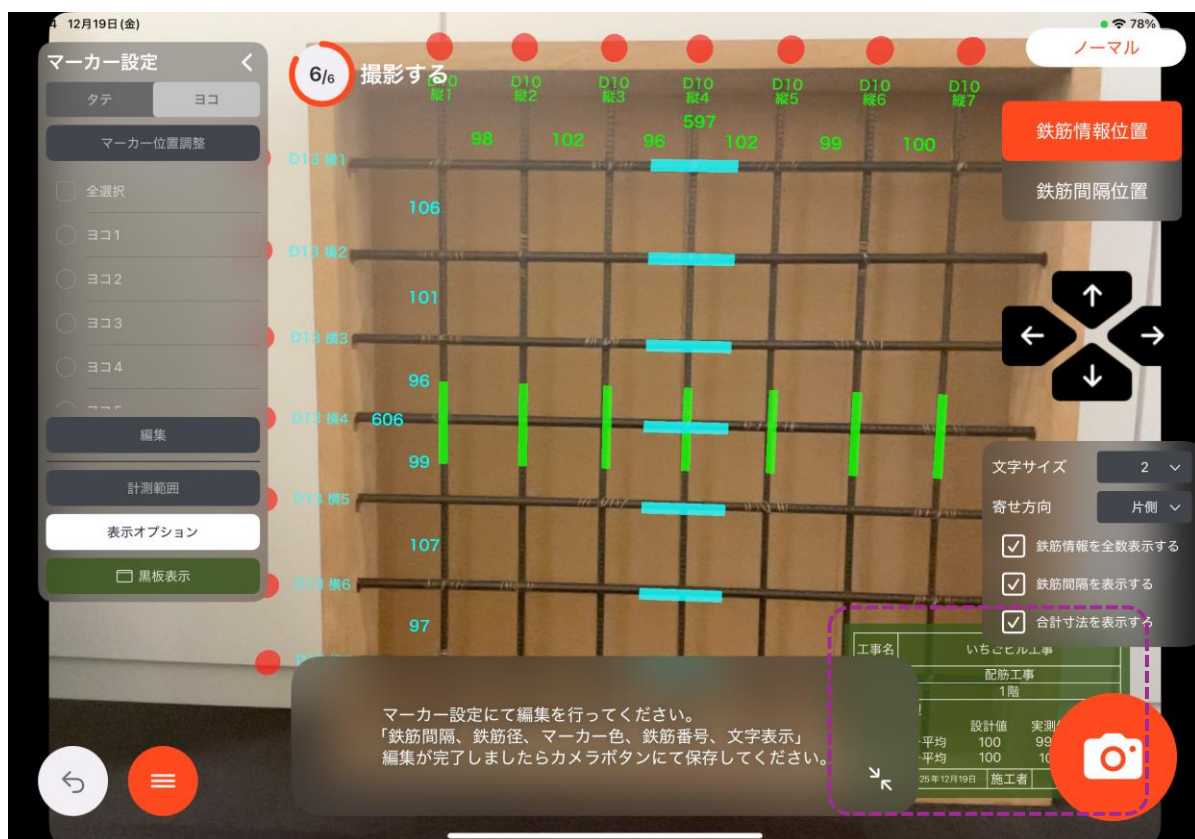
鉄筋径: D13

平均間隔 (mm): 100

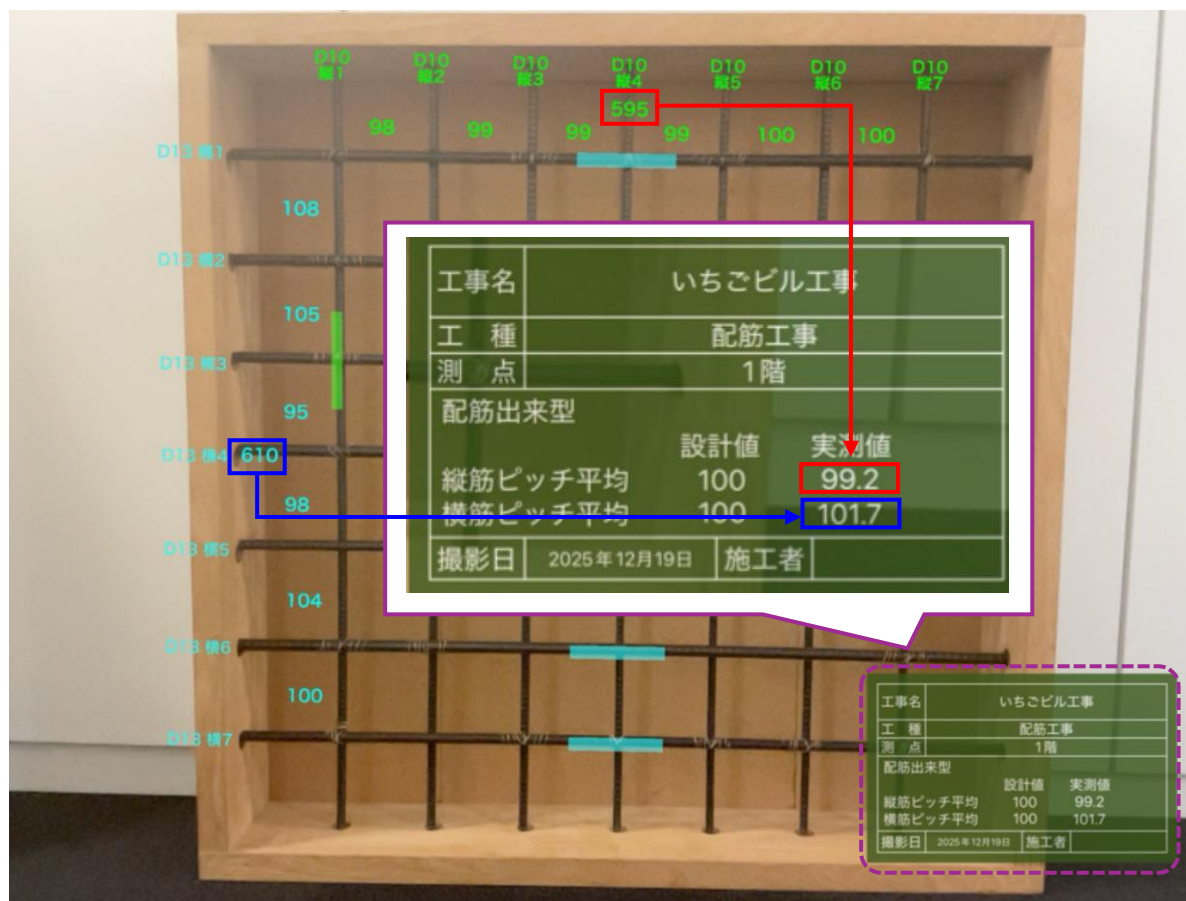
ここで入力した値が、小黒板の設計値として反映されます

工事名	いちごビル工事		
工種	配筋工事		
測点	1階		
配筋出来型			
	設計値	実測値	
縦筋ピッチ平均	0	0	
横筋ピッチ平均	0	0	
撮影日	2025年12月19日	施工者	

- ④計測を進めると、最終のマーカ位置調整を行い、計測結果を撮影する画面に移行します。この画面で小黒板に実測値が入力されます。

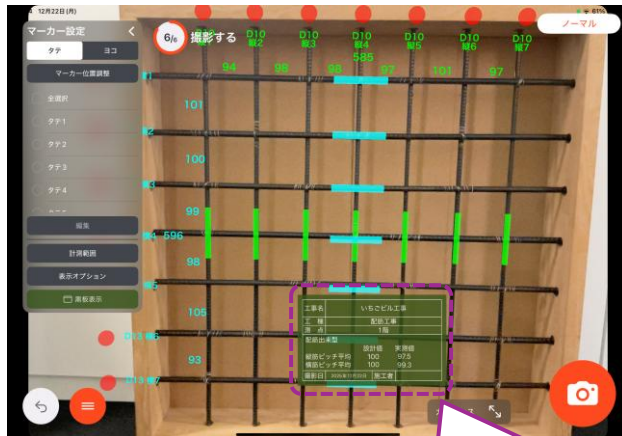
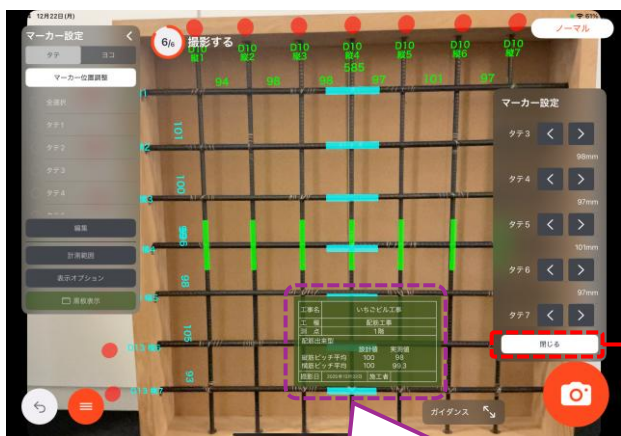


- ⑤下図に示すとおり、全長と計測箇所数から平均間隔の計測値が算出され、小黒板に反映されます。



<注意点>

マーカ位置調整を行った結果を小黑板に反映する場合は、マーカ設定パネルの「閉じる」をタップして、位置調整が実測値に反映されたことを確認のうえ、撮影ボタンを押してください。

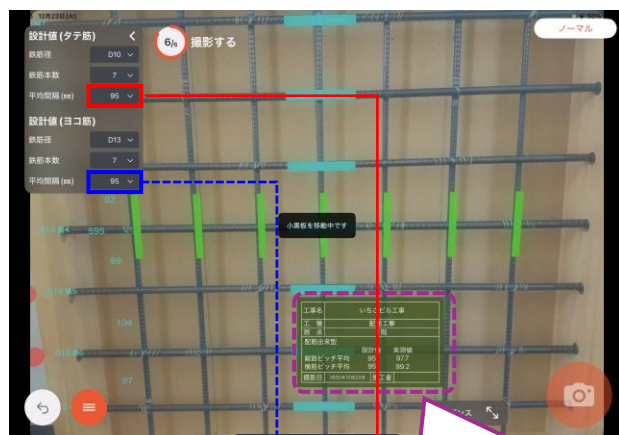


工事名	いちごビル工事	
工種	配筋工事	
測点	1階	
配筋出来型	設計値	実測値
縦筋ピッチ平均	100	98
横筋ピッチ平均	100	99.3
撮影日	2025年12月22日	施工者

「閉じる」をタップすると
実測値に反映されます

工事名	いちごビル工事	
工種	配筋工事	
測点	1階	
配筋出来型	設計値	実測値
縦筋ピッチ平均	100	97.5
横筋ピッチ平均	100	99.3
撮影日	2025年12月22日	施工者

⑥ (3) の手順で小黑板をタップした後、画面左側に表示される設計値を修正することで、小黑板に表示される設計値を変更することも可能です。



工事名	いちごビル工事	
工種	配筋工事	
測点	1階	
配筋出来型	設計値	実測値
縦筋ピッチ平均	100	97.7
横筋ピッチ平均	100	99.2
撮影日	2025年12月23日	施工者

設計値を変更

工事名	いちごビル工事	
工種	配筋工事	
測点	1階	
配筋出来型	設計値	実測値
縦筋ピッチ平均	95	97.7
横筋ピッチ平均	95	99.2
撮影日	2025年12月23日	施工者